

## 答申書

令和3年9月30日付け3京丹子第217号で諮問を受けた「時代に合った子育て環境づくり及び京丹波町における子育て環境の強みを情報発信するための取組に関することについて、答申します。

本答申については、子ども・子育て審議会の全体会議3回、書面による決議1回、正副会長会議4回を開催し、慎重に審議し、検討を重ねた結果、京丹波町の子ども・子育ての今後について、次の3点が重要であるとの結論に至りました。ここに意見を付して答申します。

- 1 子ども・子育て支援事業計画に掲げている「かかわり愛、かまい愛、つながり愛」のもとに、地域ぐるみで支援する行政施策や環境は一定の強みとして評価しながらも、より一層のきめ細やかで総合的、系統的な隙間のない支援施策を推進すること。
- 2 コロナ禍において、新たに見えてきた、経済的貧困、子ども間の触れ合いの希薄化、体験活動の不足等、子どもの成長・発達にとって重要な要素の不十分さを補い、育児・子育ての悩みを語り合える場や子どもたちの遊び場の設定、また子育て支援の各種相談窓口の活用を各関係機関と連携しながら、より一層推進すること。
- 3 京丹波町子ども・子育て支援事業施策を充実・強化させるためには、より多くの町民が活用し、その有用性や利便性を知るとともに、また町としての課題を知ることも重要なことである。  
そのためにも各種施策のきめ細やかな情報発信による周知の徹底が急務でもある。今後は、ホームページ、広報、お知らせ版のみならず、SNS（アプリ）を活用した広範囲で即応力のある子ども・子育てに関わる情報発信を推進すること。

最後に畠中町長の強い信念とリーダーシップのもと、今後子育て支援施策が、より一層充実し、計画の基本理念である「子育てを みんなではぐくむ 地域の輪」の実現に向けて邁進いただくことを願いますとともに、京丹波町の子どもたちと保護者をはじめ、町内事業所での就労者や地域住民の皆様にとって子育てしやすい町となりますことを切に願い、京丹波町子ども・子育て審議会からの答申とします。

令和5年3月3日

京丹波町長 畠 中 源 一 様

京丹波町子ども・子育て審議会

会長 大 塚 正 広